

2008年度経営プラン 中間フォロー

2008年11月

古河電気工業株式会社

取締役社長 吉田 政雄

1. 今後の方向性
2. 08年度上期決算ハイライト
3. 08年度通期経営プラン
4. セグメント情報

**総資産を1兆円レベルに抑えながら、
ポートフォリオ組み換えで総資産効率(ROA)を向上**

◎通信・電力の「伝送インフラ事業」をグローバル展開

◎素材で差別化した「ニッチ事業」でポジション強化

◎伝統的な銅加工事業は「寄せ・上げ・止め」

⇒統合・再編、稼働率アップで原価低減

2. 08年度上期決算ハイライト

08年度上期決算概要

FURUKAWA ELECTRIC

増収・営業増益、北米再編により当期利益が大幅増

(単位:億円)

	07上期実績	08上直近予想	08上期実績	07実績比
売上高	5,775	5,950	5,839	+1%
営業利益	210	210	211	+1%
経常利益	226	120	171	-24%
当期利益	146	136	250	+71%

有利子負債

	08/3末	08/9末	
	3,991	3,877	-113

営業外損益以降の変動要因

	07上実績	08上実績	07/08差	要因
為替差損益	+41	▲28	▲69	(円建て貸付金による為替損拡大)
持分法損益	+8	+11	+3	(高圧ケーブルのビスキャストが貢献)
特別利益	+12	+134	+122	(海外子会社清算による為替調整益)
特別損失	▲56	▲187	▲131	(古河マグネ工場跡地の鉱滓処理など)
法人税等	▲19	+155	+174	(北米子会社再編による税効果など)
少数株主利益	▲16	▲23	▲7	(OCPの控除減少など)

北米製販体制の再編①

目的：製販一体のカンパニー制を推進

現 状

古河電工

FENA(持ち株会社)

FAI(販売会社)
(光部品・エレクトロニクス他)

OFS
(光ファイバ・ケーブル)

FENA-APD
(自動車部品)

09年1月～

古河電工情報通信C

古河電工電装エレC

OFS
(光ファイバ・ケーブル)

FENA-APD
(自動車部品)

(光部品販売)

(エレクトロニクス他販売)

FENA清算(08年12月末予定)による効果

①製販一体のカンパニー制を推進

⇒顧客要求対応の一体化・迅速化で事業拡大

②古河電工からの円建て貸付金⇒FENA保有資産で代物弁済

⇒09年1月より円建て貸付金の為替リスクが解消

(営業外で±6億円／±1円)

③OFSへの投資損が確定し繰延べ税金資産を計上

⇒法人税等調整額戻し212億円を計上

旧古河マグネシウム(株)の工場跡地(栃木県小山市173,407㎡) の鉍滓(マグネシウム精錬後の残渣物)の処理を実施予定

◎予想費用:117億円

◎スケジュール:調査後09年秋に着手、数年間を要する見込み

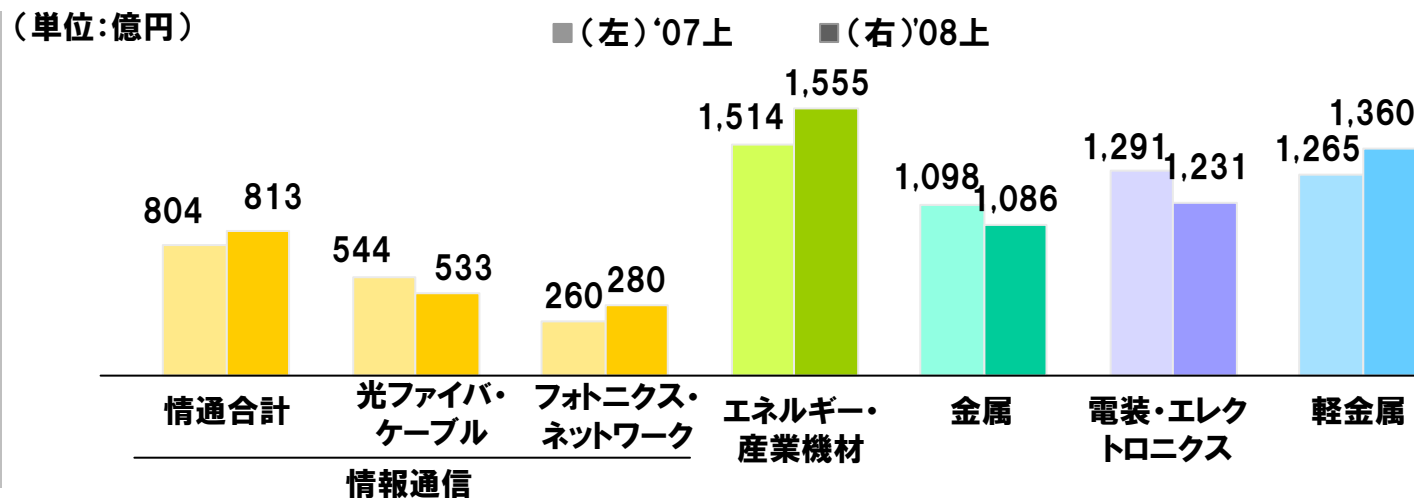
◎業績への影響:09年3月期第2四半期で特損117億円引当て

07/08上期 セグメント別売上高・営業利益

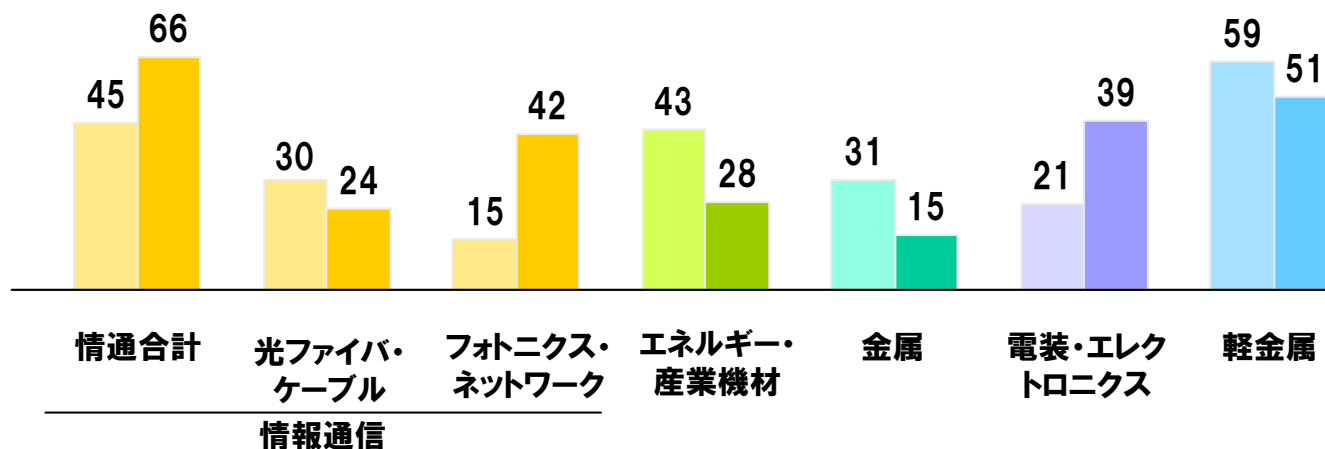
FURUKAWA ELECTRIC

フォトニクス・電装エレがエネ産機・金属の低迷をカバー

売上高
07上: 5,775
08上: 5,839



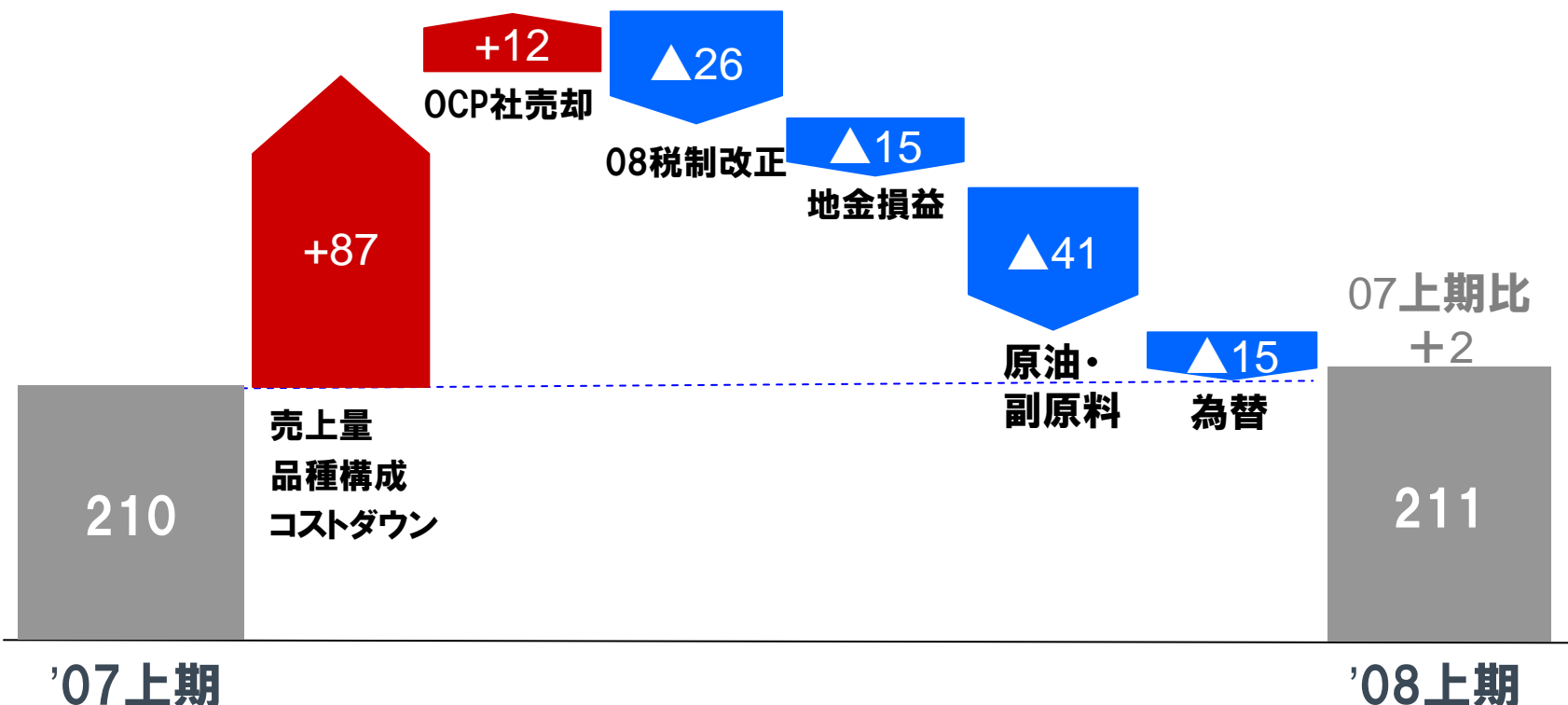
営業利益
07上: 210
08上: 211



07/08上実績 営業利益増減の要因分析

税制改正、原油・副原料高、円高を改善でカバー

(単位:億円)



*地金・・・銅・アルミ

*原油・・・燃料・石化製品原材料

*副原料・・・マグネシウム、銀、錫、ニッケルなど

成長に向けた08年度上期の主な取り組み

FURUKAWA ELECTRIC

「伝送インフラ」のグローバル展開と「ニッチ」のポジション強化

テーマ	実施案件
グローバル拡大・増産	《光ケーブル》 欧州で増産体制確立 アルゼンチンで生産開始 《高圧ケーブル》 中国瀋陽で能力増+30% 《半導体テープ》 国内で能力倍増 《電解銅箔》 能力増 台湾+15%、国内+20%
事業・子会社の再編	《光ケーブル》 国内生産を千葉に集約 《電力部品》 買収子会社を新規連結
財務改善	カナダ子会社清算に伴い為替調整勘定取崩し益計上 有利子負債を継続削減

3. 08年度通期経営プラン

08年度 連結業績予想(11月10日修正)

FURUKAWA ELECTRIC

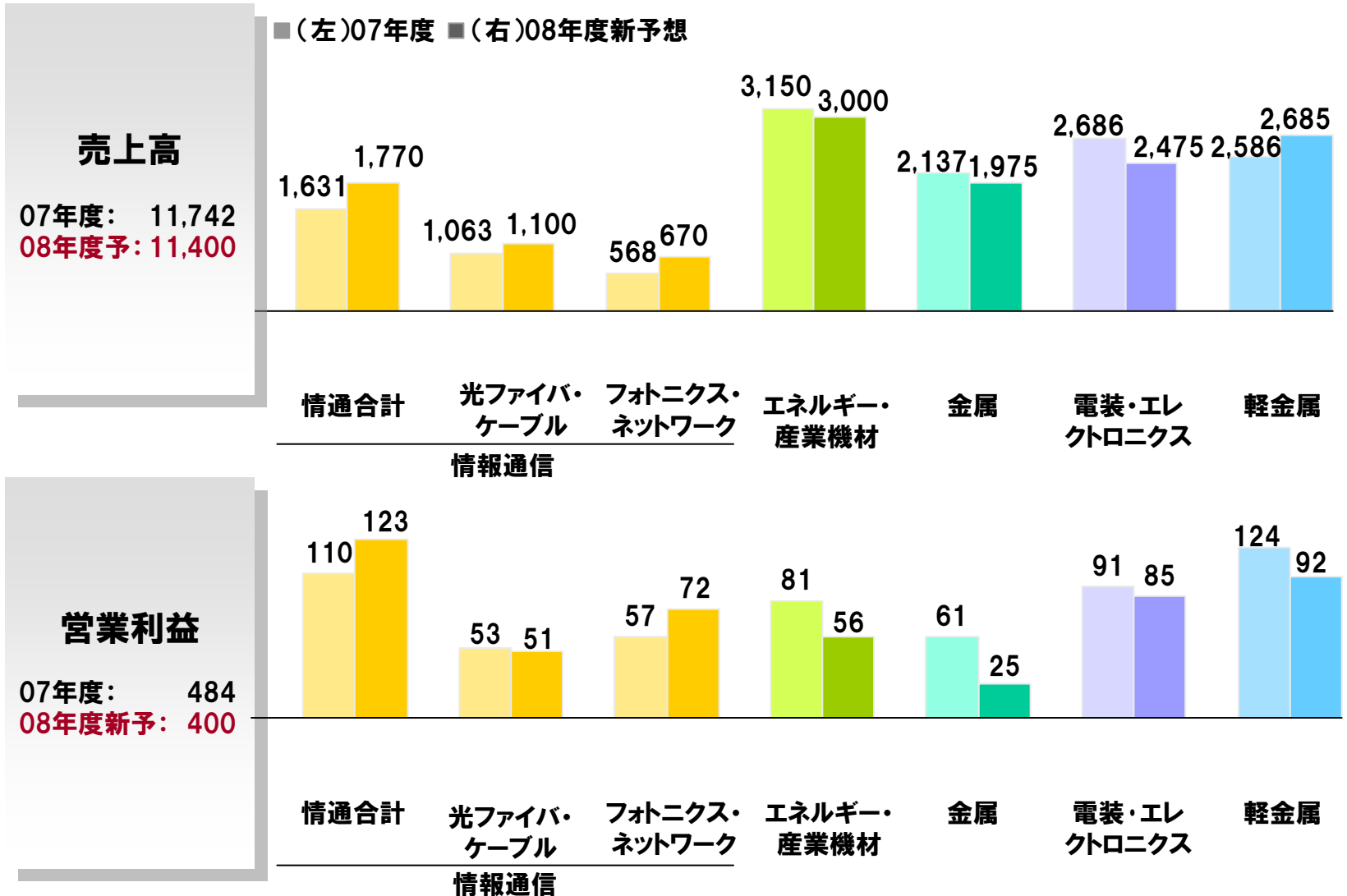
景気減速でも北米再編で当期利益増を予想

(単位:億円)	08旧予想	08新予想	新旧予想差
売上高	12,100	11,400	▲700
08税制改正影響	▲65	▲57	
営業利益	460	400	▲60
貸付金為替損益	▲65	▲92	
経常利益	345	260	▲85
特別損益	+101	▲140	
法人税・調整等	▲147	+208	
当期利益	241	290	+49
EPS	34円	41円	+7
前提数値			(上実績/下予想)
為替(¥/\$)	100	103	(←105/100)
ドバイ原油(\$/B)	111	89	(←115/62)
銅建値(¥/kg)	900	704	(←907/500)
アルミ基準価格(¥/kg)	320	330	(←345/325)

07/08新予想 セグメント別売上高・営業利益 FURUKAWA ELECTRIC

通信・電力の海外インフラ系は堅調、内需は減速

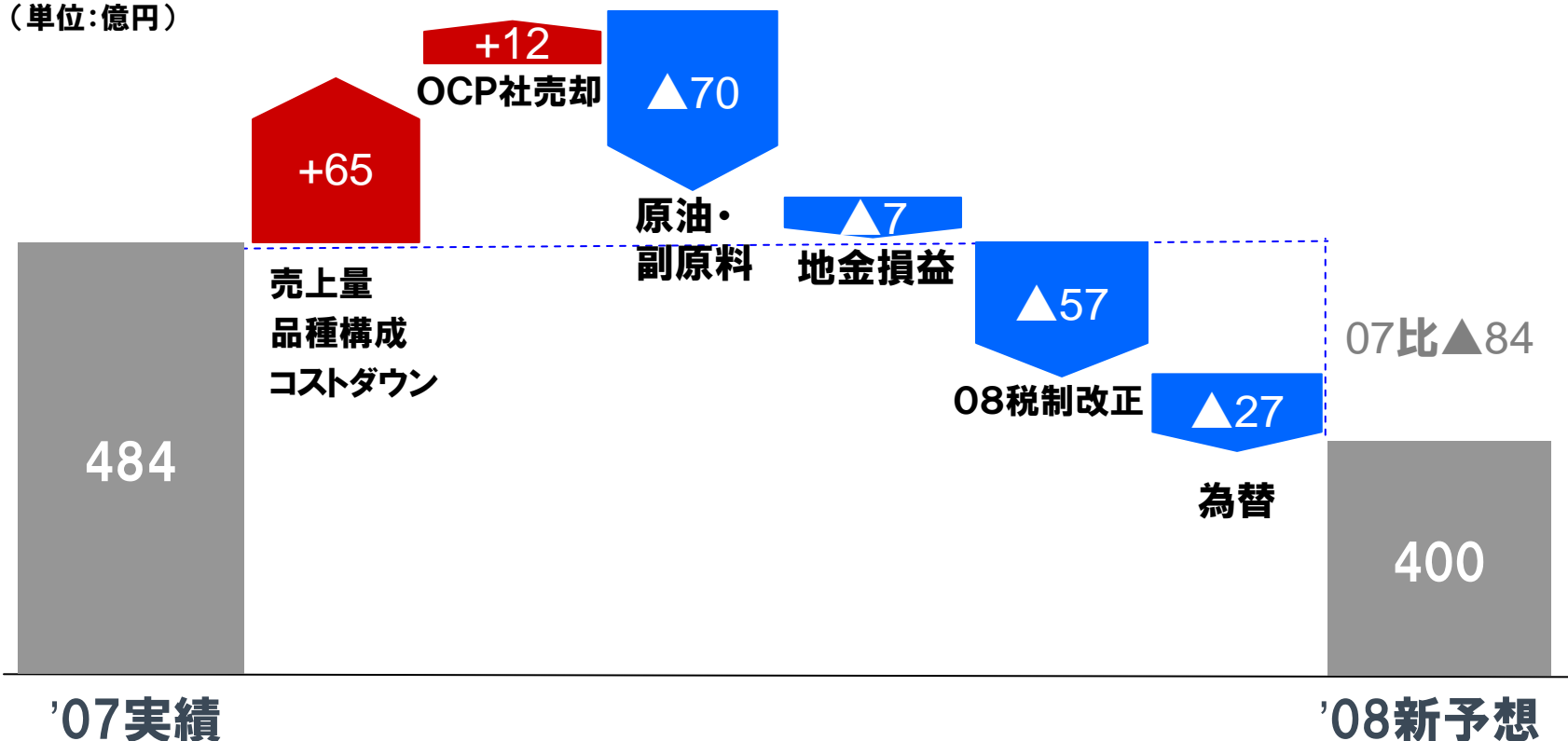
(単位:億円)



07/08新予想 営業利益増減の要因分析

原油・副原料、地金は改善でカバーするも税制改正・為替分でマイナス

(単位:億円)



*地金・・・銅・アルミ

*原油・・・燃料・石化製品原材料

*副原料・・・マグネシウム、銀、錫、ニッケルなど

成長に向けた08年度下期の主な取り組み

FURUKAWA ELECTRIC

「伝送インフラ」のグローバル展開と「ニッチ」のポジション強化

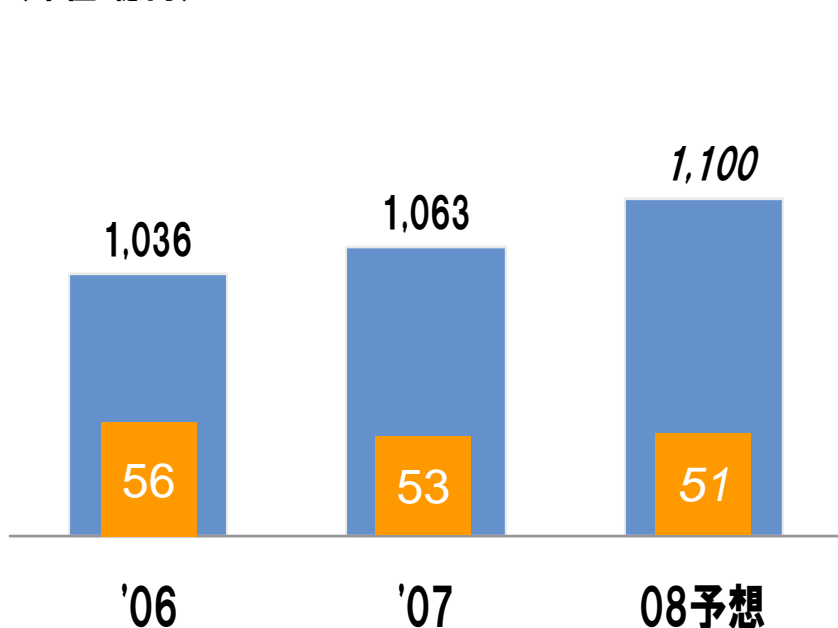
テーマ	実施案件
グローバル拡大・増産	《光ケーブル》 欧州で増産体制確立 《半導体レーザ》 FBTタイプ能力増 《高圧ケーブル》 中国瀋陽で能力追加 《電解銅箔》 リチウム電池用の能力増 《ガラス基板》 量産化に向け準備推進 《ワイヤハーネス》 インドで量産スタート
事業・子会社の再編	《北米子会社》 FENA清算 《電力部品》 井上製作所を100%子会社化 《電解銅箔》 古河サーキットフォイルを吸収
財務改善	為替リスク軽減を実現 有利子負債削減を継続

4. セグメント情報

情報通信 <光ファイバ・ケーブル>

売上高 ■ 営業利益 ■

(単位:億円)



営業利益の変動要因 (単位:億円)

'07上→'08上

30→24

▲6

- + ブラジルFISAのLANケーブル、光ケーブル好調
- ▲ 米OFSの光ケーブル低調
- ▲ 国内の光ケーブル低調

'07→'08予

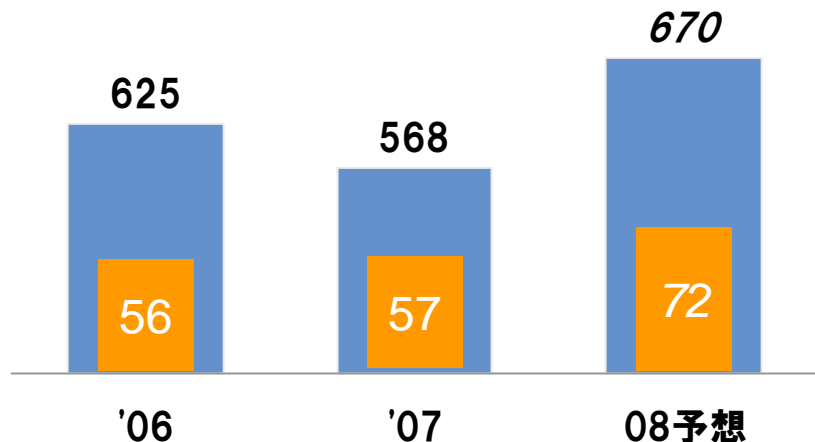
53→51

▲2

- + ブラジルFISAのLAN事業拡大
- + 米OFSの欧州、海底ファイバ伸張
- ▲ 国内光ケーブルの低調続く

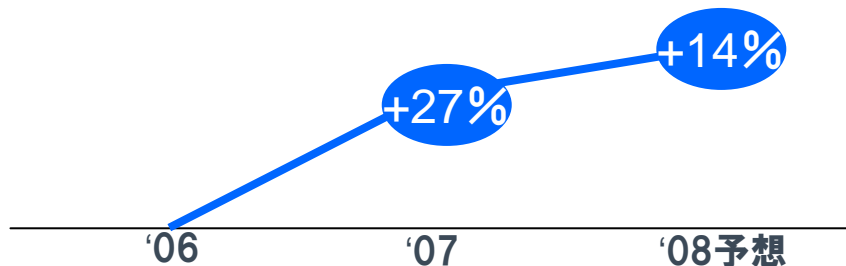
売上高  営業利益 

(単位:億円)



成長商品 売上高の対前年伸び率

アクティブ光部品・機器(光アンプ、レーザ)



営業利益の変動要因

'07上→'08上

15→42

+27

- + 07上期に米赤字会社売却で+12
- + 国内NGN向け光アンプ・レーザ好調
- + 国内FTTH向け光部品好調
- + 国内ルータ、CATV関連好調

'07→'08予

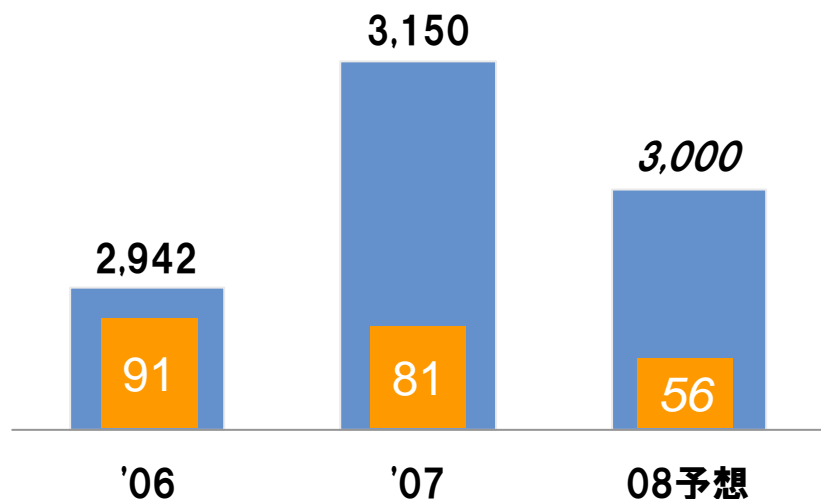
57→72

+15

- + 07上期に米赤字会社売却で+12
- + 光アンプ・レーザ好調続く
- ▲ 国内CATV関連減速

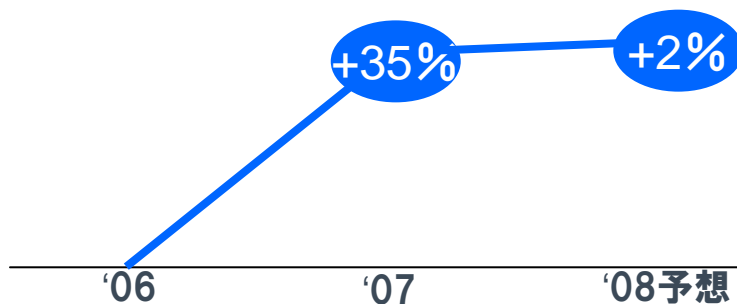
売上高  営業利益 

(単位:億円)



成長商品 売上高の対前年伸び率

半導体テープ



営業利益の変動要因

'07上→'07上
43→28

▲15

エネルギー

- + 中国瀋陽高圧ケーブル好調
- + 国内高圧部品好調
- ▲ 国内銅線・産業電線低調

産業機材

- ▲ 半導体テープやや減速
- ▲ 発泡製品低調

共通

- ▲ 税制改正影響▲2

'07→'08予
81→56

▲25

エネルギー

- + 中国瀋陽高圧ケーブル好調続く
- ▲ 国内銅線、産業電線低迷続く

産業機材

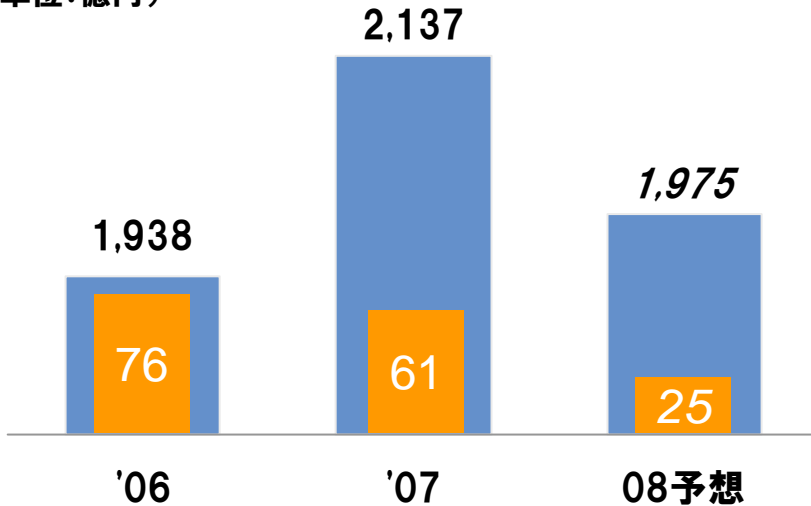
- ▲ 半導体テープ減速
- ▲ 発泡製品低迷続く

共通

- ▲ 税制改正影響▲4

売上高 営業利益

(単位:億円)



営業利益の変動要因

'07上→'08上

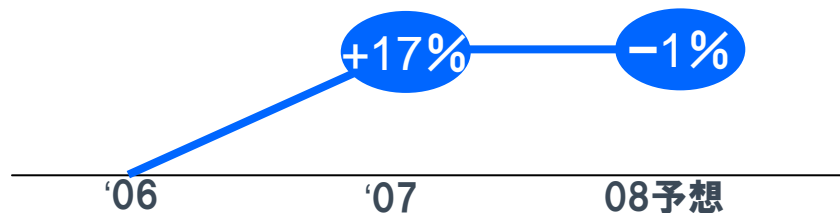
31→15

▲16

- ▲ 銅条・銅管の需要減
- ▲ 銅箔の汎用品減速
- ▲ 税制改正影響▲5

成長商品 売上高の対前年伸び率

電解銅箔



'07'→08予

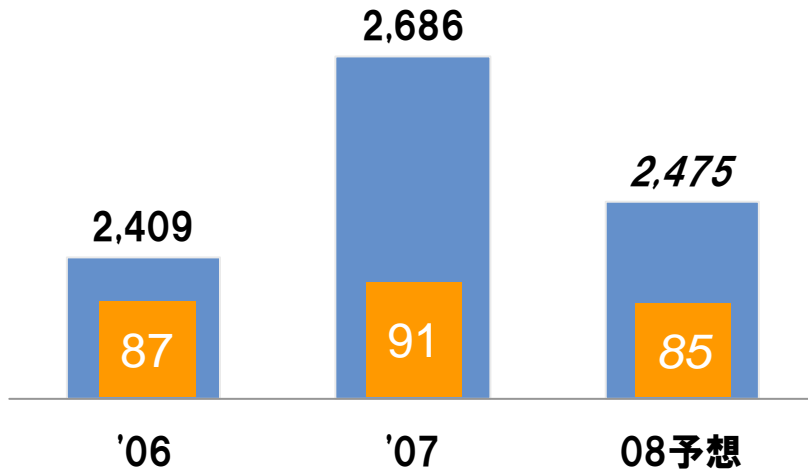
61→25

▲36

- ▲ 銅条・銅管の在庫調整
- ▲ 銅箔汎用品の在庫調整
- + 加工賃改定推進
- ▲ 税制改正影響▲10

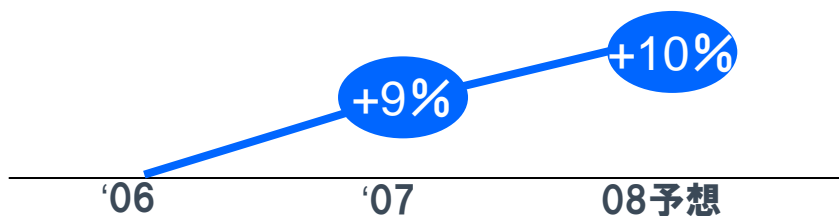
売上高 ■ 営業利益 ■

(単位:億円)



成長商品 売上高の対前年伸び率

メモリディスク



営業利益の変動要因

'07上→'08上

21→39

+18

- + ワイヤハーネス堅調
- + 電池好調
- ▲ ELC、巻線低調
- ▲ 税制改正影響▲4

'07→'08予

91→85

▲6

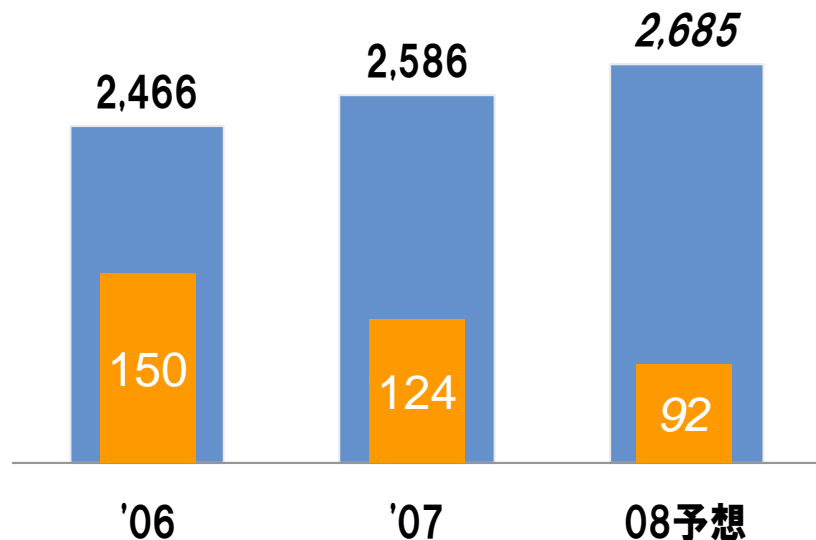
- + ワイヤハーネス堅調続く
- ▲ 電池の鉛価格ダウン
- ▲ ELC、巻線低調続く
- ▲ 税制改正影響▲9

軽金属(古河スカイグループ)

FURUKAWA ELECTRIC

売上高  営業利益 

(単位:億円)



営業利益の変動要因

'07上→'08上

59→51

▲9

- + 厚板など全般的に売上数量増
- ▲ 原油・副原料価格高騰▲24
- ▲ 税制改正影響▲14

'07→'08予

124→92

▲32

- + 原油・副原料価格低下
- + 太陽光発電基板ホルダー向け増
- ▲ 厚板・輸出が減速
- ▲ 税制改正影響▲31

ご清聴ありがとうございました。



将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、例として以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- ・米国、欧州、日本その他のアジア諸国の経済情勢、特に個人消費及び企業による設備投資の動向
- ・米ドル、ユーロ、アジア諸国の各通貨の為替相場の変動
- ・急速な技術革新と当社グループの対応能力
- ・財務的、経営的、環境的な諸前提の変動
- ・諸外国による現在及び将来の貿易規制等
- ・当社グループが所有する有価証券等の時価の変動

従いまして、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは大きく異なる場合があることをご承知おき下さい。なお、当社グループは、この資料の本リリース後においても、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。

著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、古河電気工業株式会社に帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。